

(6) スプレーバラ（ニューヨーク想定：梱包から開封まで約54～58時間）

① 調査区分

■夏期調査（平成21年9月16日～18日）

品 種 名：リディア、フレアー、スイートオールド

〔1束当たりの平均重量 リディア≒426G、フレアー≒530g、スイートオールド≒348g〕

本 数：200本、240本の2パターン（1束当たりの本数=10本）

（実際の梱包具合は、この本数では余裕がかなりある状態）

保水状態：乾式、保水ゼリーの2パターン（乾式と湿式は別々）

予冷方法：強制通風予冷と差圧通風予冷の2パターンを実施

入り数	品種名	予冷方法	保水条件	内訳	日持ち 日数(日)	内容物 総重量(概算)	梱包 具合
130本 (13束)	リディア	強制通風	乾式	13束	12.0	5.54kg	少
130本 (13束)	リディア	強制通風	保水ゼリー	13束	12.0	5.54kg	少
130本 (13束)	リディア	差圧通風	保水ゼリー	13束	11.6	5.54kg	少
180本 (18束)	リディア	強制通風	乾式	18束	10.0	7.67kg	◎
180本 (18束)	リディア	強制通風	保水ゼリー	12束	12.0	7.75kg	◎
	フレアー			3束	5.0		
	スイートオールド			3束	5.0		
180本 (18束)	リディア	差圧通風	保水ゼリー	18束	12.0	7.67kg	◎

■冬期調査（平成22年1月20日～22日）

品 種 名：リディア、スイートオールド

〔1束当たりの平均重量 リディア≒541g、スイートオールド≒563g〕

本 数：140本（最大値）のみ（1束当たりの本数=10本）

（他の品目との混載ボックスによるテストも実施）

保水状態：保水ゼリー（新しく取り替え）のみ1パターン

（混載は乾式と保水ゼリーの2パターンを実施）

予冷方法：強制通風予冷と差圧通風予冷の2パターンを実施

入り数	品種名	予冷方法	保水条件	内訳	日持ち 日数(日)	内容物 総重量(概算)	梱包 具合
140本 (14束)	リディア	強制通風	保水ゼリー	7束	10.0	6.62kg	◎
	スイートオールド			7束	6.0		

140本 (14束)	リディア	差圧通風	保水ゼリー	7束	7.0	6.62kg	◎
	スイートオールド			7束	10.0		
他品目と 混載(12束)	スイートオールド	強制通風	乾式	3束	6.4	6.28kg	◎
他品目と 混載(12束)	スイートオールド	強制通風	保水ゼリー	3束	8.6	6.31kg	◎

② 保水条件による比較

調査時期	品種名	保水条件	重量増減(%)	日持ち日数(日)
9月	リディア	乾式	-6.3~-6.1	10.0~12.0
9月	リディア	保水ゼリー	0.8~2.2	12.0
9月	リディア(※)	保水ゼリー	3.0~4.2	11.6~12.0
9月	スイートオールド	保水ゼリー	7.2	5.0
9月	フレアー	保水ゼリー	3.9	5.0
1月	リディア	保水ゼリー	4.8	10.0
1月	リディア(※)	保水ゼリー	4.2	7.0
1月	スイートオールド	保水ゼリー	3.1	6.0
1月	スイートオールド(※)	保水ゼリー	2.8	10.0

(※)は差圧予冷予冷を実施

③ 試験結果分析概要

スプレーバラは、ある程度詰め込んでも痛みが少ないので、あまり心配をしなくても詰め込むことができるので、比較的 maximum 梱包値は出しやすい。しかし、品種や産地によってボリュームの幅が非常に大きいので、気をつけなければならない。

一方で、乾式と湿式との日持ちの差はあまり見られなかったが、しかし、重量増減比率を見てもみると、乾式と湿式の差が最大 8.5%あり、しおれ限界の目安(約 7%)を上回っており、植物の生理上も心配であるので、乾式はあまり勧められないという結果となった。

また、差圧通風予冷による予冷で、冬期のスイートオールドによる比較では、その効果がはっきり表れた。